

 (東証スタンダード市場：6848)

2021年度（2022年3月期） 決算補足説明資料

東亜ディーケーケー株式会社

2022年4月

■売上高：増収

(国内) 官公需は例年並み。民需は回復傾向で受注は好調も売上は微減
(海外) 主に中国・韓国での販売が好調で増収

■利益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

☞ 単月黒字化151か月連続記録更新中 (2009年9月から12年7か月)

(単位:百万円)

	2020年度 実績	2021年度 実績	前期比増減	
			金額	率
売上高	15,988	16,424	435	+2.7%
営業利益 売上高比	1,852 11.6%	1,909 11.6%	57	+3.1%
経常利益 売上高比	1,907 11.9%	1,968 12.0%	61	+3.2%
親会社株主に帰属する 当期純利益 売上高比	1,374 8.6%	1,347 8.2%	△27	△2.0%

計測機器事業（増収・増益）

売上高16,166百万円（2.8%増）、セグメント利益2,567百万円（5.2%増）

■ 環境・プロセス分析機器：前期比微増収。

国内販売は官公庁向け例年並み。民間企業向けは需要の回復傾向により受注は好調に推移するも売上計上に至らず微減収。

海外販売は中国環境用水質分析計需要の高まりを捉え販売伸長。

韓国での水道事業案件の獲得や、台湾等での半導体関連設備向け販売も好調で大幅増収。

■ 科学分析機器：ラボ用分析機器・ポータブル分析計は微増収。

医療関連機器は粉末型透析用剤溶解装置の受注が順調に推移し増収。

■ 電極・標準液、保守・修理及び部品・その他：保守点検がほぼ計画通り行われ微増収

■ 利益：原価率上昇も、増収・販管費減少により増益

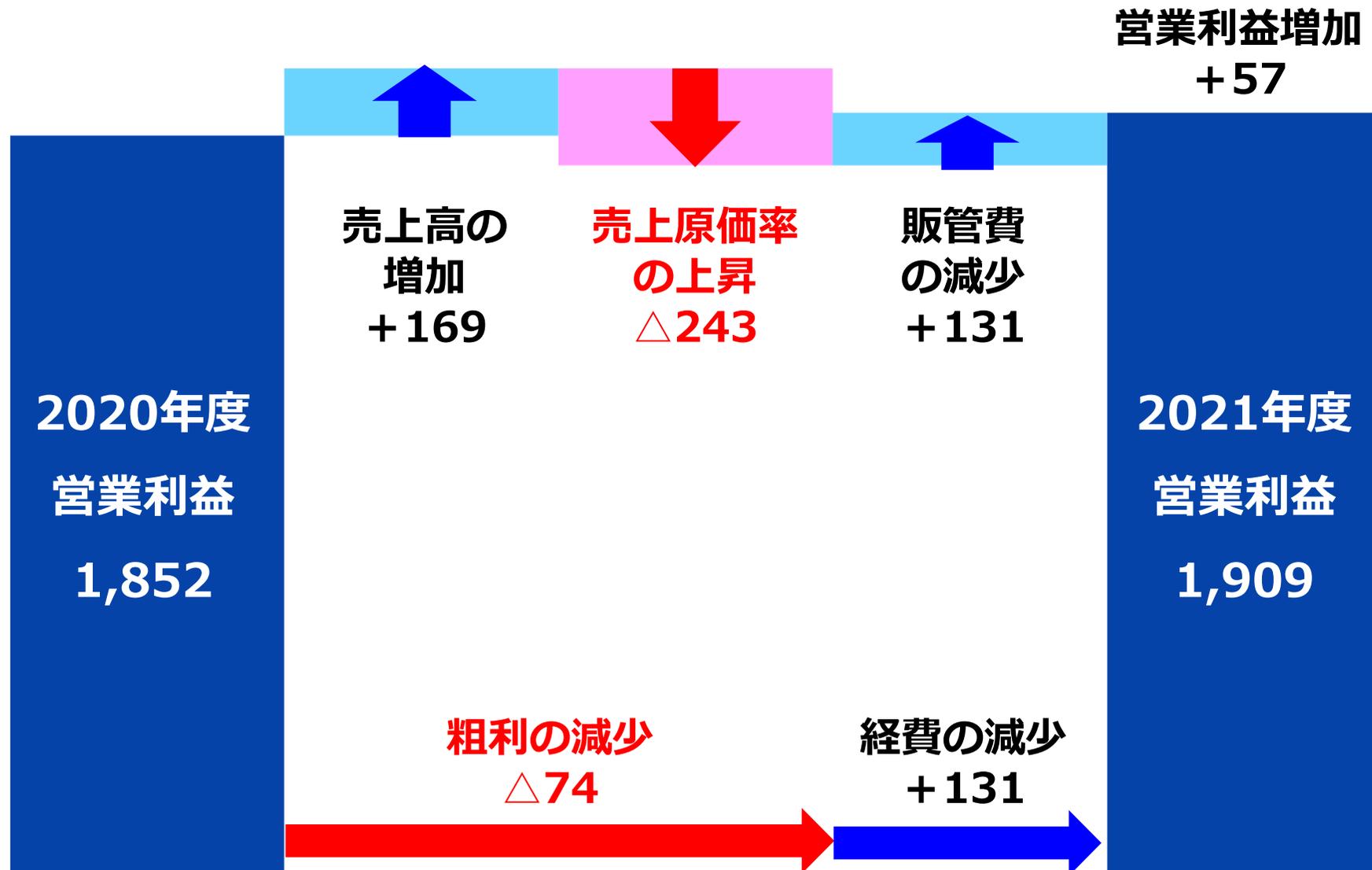
不動産賃貸事業（減収・減益）

売上高257百万円（0.4%減）、セグメント利益163百万円（0.8%減）

■ 主な賃貸物件は、本社に隣接しているビル1棟と駐車場

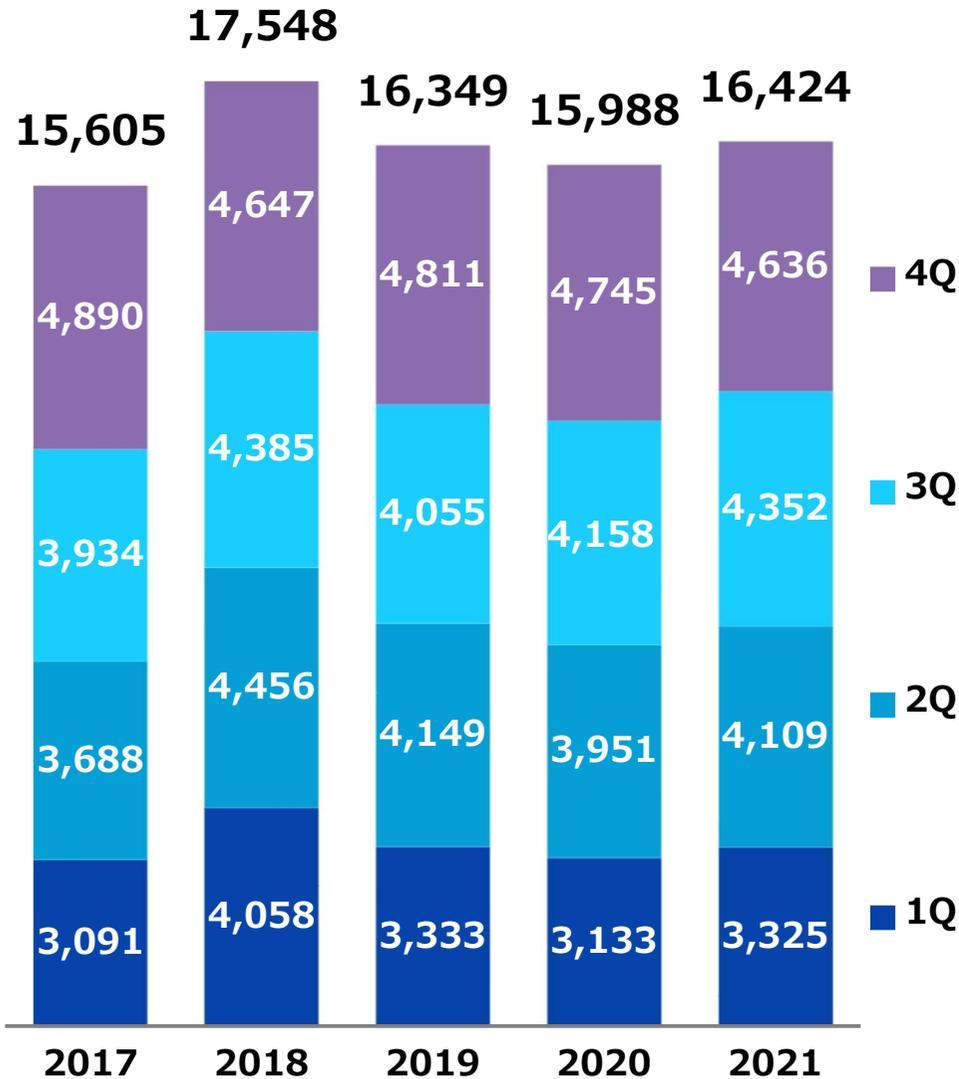
営業利益の増減分析

(単位:百万円)

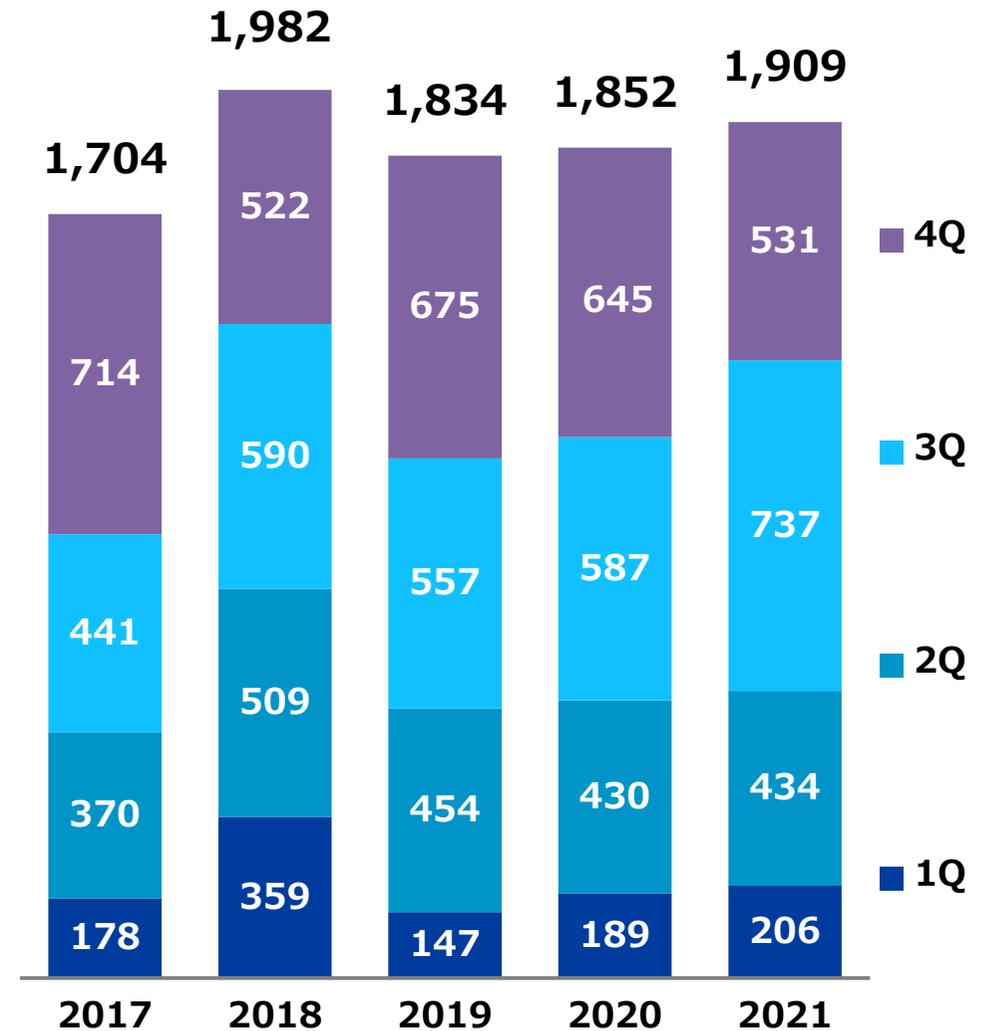


(単位:百万円)

売上高

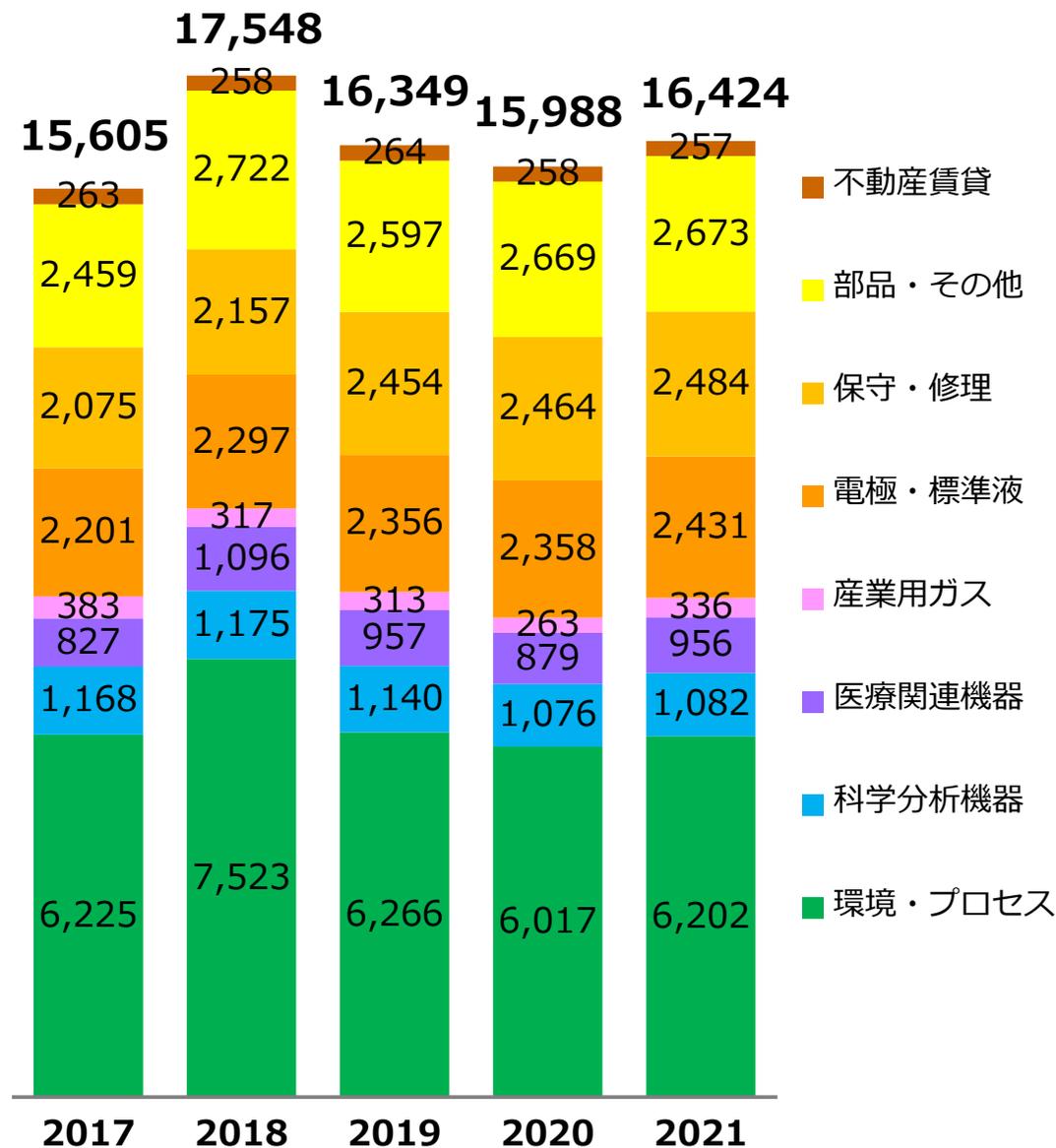
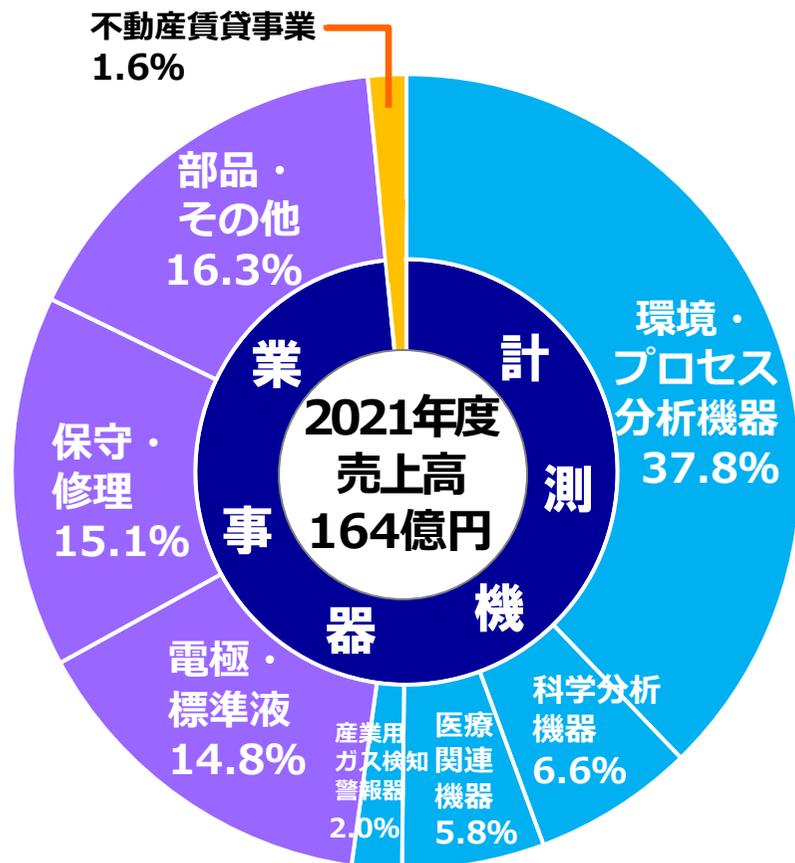


営業利益



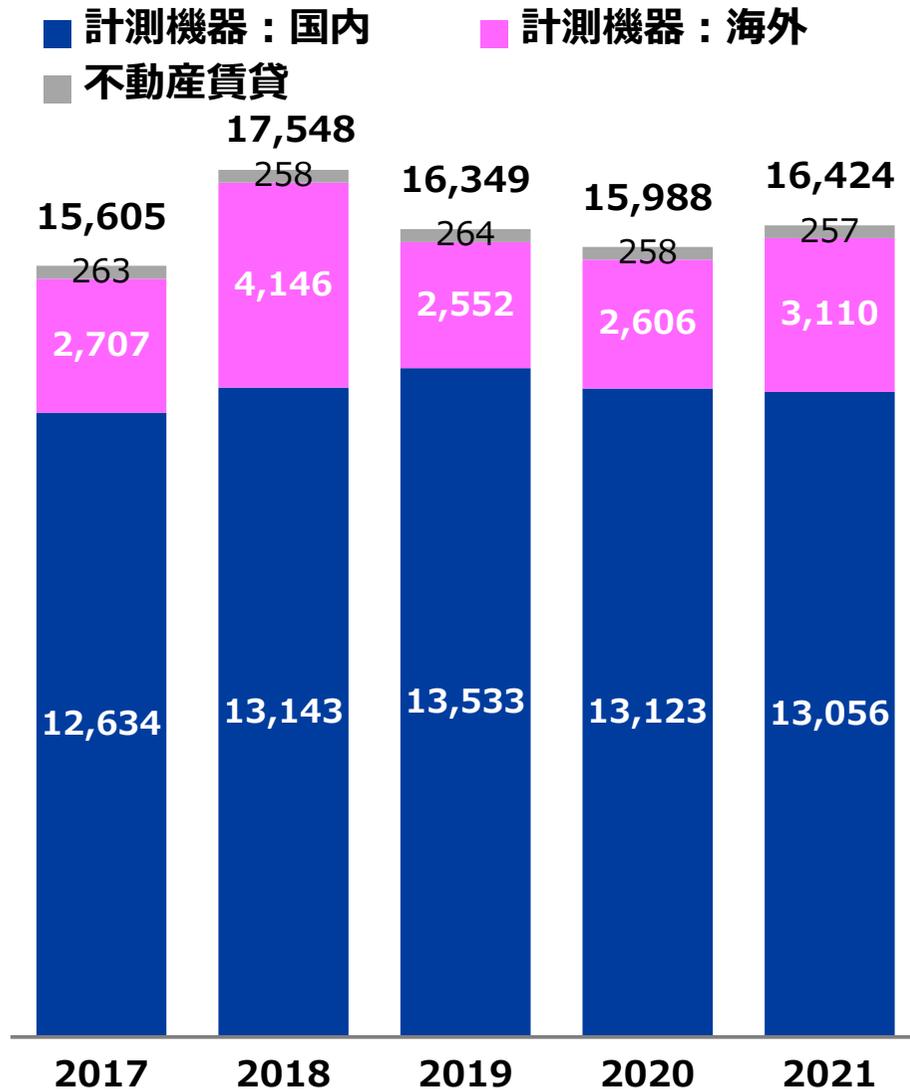
分野別構成比と売上高推移

(単位:百万円)

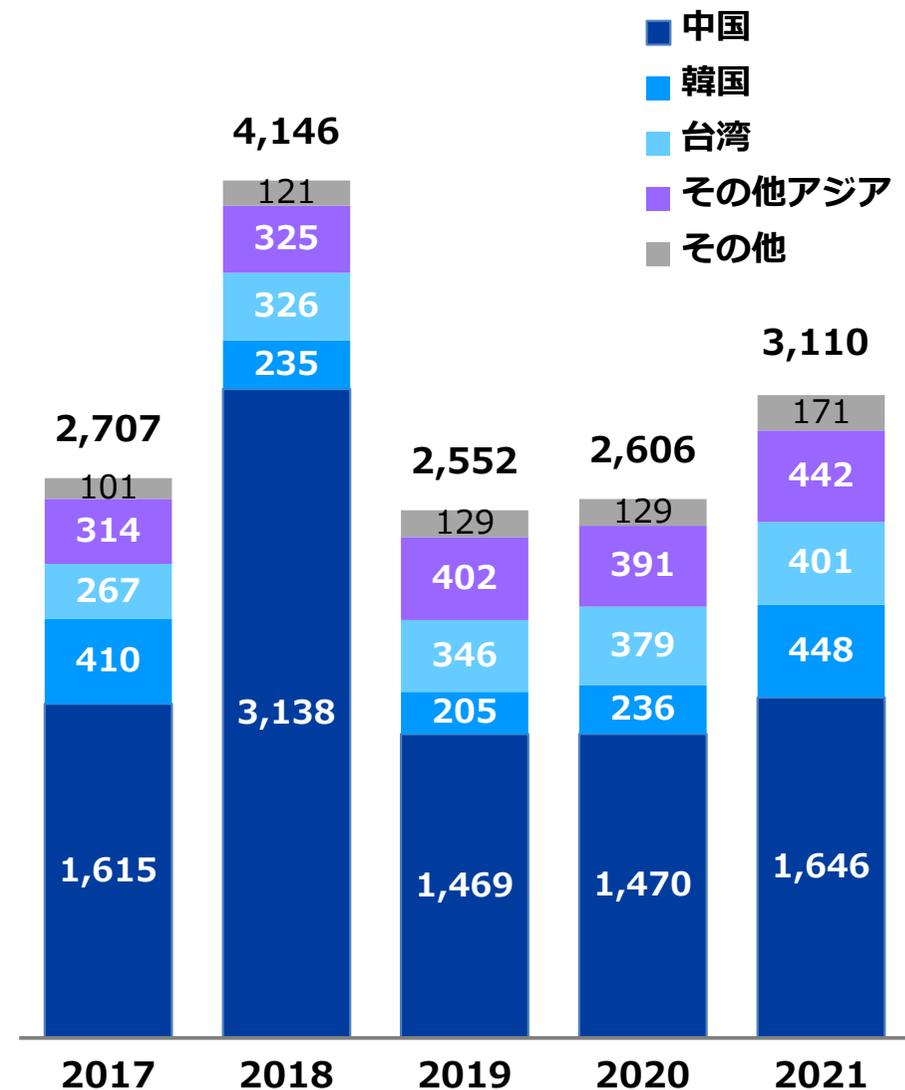


(単位:百万円)

国内外の売上高



海外の国別売上高



- 本資料は当社をご理解いただくために作成したものであり、当社への投資勧誘を目的としたものではありません。
- 本資料における将来予想に関する記述につきましては、目標や予測に基づいており、確約や保証を与えるものではありません。
- 本説明資料中の記載金額は、表示単位未満を切り捨てて表示しておりますので、表中の内訳と合計が一致しない場合があります。
また、諸比率は円単位で算出の上、小数点第2位を四捨五入しておりますので、合計が100.0%とならない場合があります。
- 将来における当社の業績が、現在の当社の将来予想と異なる結果になることがある点を認識された上でご利用ください。
- 業績等に関する記述につきましても、信頼できると思われる各種データに基づいて作成しておりますが、当社はその正確性、安全性を保証するものではありません。
- 本資料は、投資家の皆さまがいかなる目的にご利用される場合においても、皆さまご自身のご判断と責任においてご利用されることを前提にご提示させていただくものであり、当社はいかなる場合においてもその責任を負いません。

＜お問い合わせ＞

東亜ディーケーケー株式会社

経営戦略部 経営企画課

メール：ir@toadkk.co.jp

URL：https://www.toadkk.co.jp/